

「業務実績評価に関する委員の意見」

資料2-2

○事業番号及び該当ページの説明

事業番号とは、第1回「資料4-2」及び第2回「資料2-3」にある□で囲んだ事業番号

該当ページとは、第1回「資料4-2」及び第2回「資料2-3」に記載されているページ

○区分の説明

確認 評価を行うにあたり、エビデンスの提示や説明を求める事項(ヒアリング事項)

検証 法人の自己評価に対し、委員の検証の結果、異なる評価とされた事項

評価 優れた取組等、改善すべき事項等として評価書に記載すべき事項

要望 評価書には記載しないが、次年度以降の年度計画への反映、取組の強化・実績報告の記載内容の見直し等を要望する事項

事業番号	該当ページ	区分	項目	意見	評価		その理由等
					法人自己評価	委員の評価	
24	14P	評価	管理栄養士の合格率	「環境共生学部—食健康科学科」の年度計画「管理栄養士国家試験の合格率90%以上を達成するため、…」については、新卒合格率が85.7%にとどまった。さらなる努力が期待される。			
65	29P	確認 要望	研究水準の向上	中期計画では、「…研究水準を向上させる。」とあるが、どのようなエビデンスによって、研究水準の向上を示すお考えか？ 年度計画では「…共同研究を推進する」として、実績として、種々の共同研究を挙げている。どのような年度計画を積み上げれば、中期計画「研究水準の向上」に到達するのか、良く検討して、以後の年度計画を作成すべきである。			
97	43P	確認 評価	学生の受託調査への参加	中期計画には、「…学生の受託調査等への積極的な参加を推進する。」とあり、年度計画には「…学生に広く参加の機会を提供する。」とあるが、実績としては、受託研究の推進結果が多く示されており、一部について学生への情報提供と参加機会の提供を行った としている。実際に、どの程度の学生参加の実績があったのか、示すべきである。			

事業 番号	該当 ページ	区分	項目	意見	評価		その理由等
					法人自 己評価	委員の 評価	
127	54P	確認 要望	組織体制の整備	組織体制が整備され定期的に会議を開催するなど、その取組みは評価できるが、会議の回数だけでは評価が難しい。 ・それぞれの会議が健全に行われているか。 ・会議がその後に生かされているか。 ・会議自体が負担となって、委員の本来の業務に支障が出ていないか。 上記の項目についても検証する必要があると感じる。	(A)	(A)	「今後の課題として意見を述べた」までです。 評価を変えるほどではありません。
128	54P	確認 要望	円滑な学部運営	「円滑な学部の運営を行った」という大学側の実績コメントで「A」評価にして良いのか疑問。 年度計画を実行したことによる「効果」が何かあったのか。その辺りを明記して欲しい。	(A)	(A)	「今後の課題として意見を述べた」までです。 評価を変えるほどではありません。
133	55P	確認 評価	会計処理の監査体制等	納品検収について、問題の生じないチェック体制になっているか。確認したい。			
133	55P	確認 評価	会計処理の監査体制等	定期的な監査を行った結果、問題点はなかったのか。	(A)	(A)	
137 ～ 139	56P	確認 評価	学部・学科、大学院研究科の将来のあり方検討	「ディプロマ・ポリシーの明確化とカリキュラムの検証を進める」とあるが、大変大きな全学的課題であるので、何が問題で、どのような組織(委員会)体制で、どのような手続き(攻め方)で進めるのか明確にし、実施に移していただきたい。			
137 ～ 139	56P	確認 検証	学部・学科、大学院研究科の将来のあり方検討		B	A	学生アンケートで『外国語教育の満足度』が低かったから「B」なのでしょうか。 「将来のあり方を検討する」ことが年度計画なので、取組自体は「A」評価でも良いのではと思います。

事業 番号	該当 ページ	区分	項目	意見	評価		その理由等
					法人自 己評価	委員の 評価	
146	58P	確認 検証 評価 要望	任期制の導入検討	全教員を対象として任期制の導入を検討する」という中期計画に対して、検討結果はどうなっているのか？（過去の評価書に示されているのでしょうか？）年度計画では、「……適宜導入を図る」として、いくつかの導入実績が示されている。	A	B	全教員を対象として任期制の導入を検討する」という中期計画について、検討結果が「……適宜導入を図る」（年度計画）であると理解したとして、「全教員を対象として……」に着目すると、4年経過した現時点での進捗が遅いと考えざるを得ない。したがって、評価はB相当。 中期計画の評価をする場面は、現時点ではないが、あえて現時点の評価を下すとしたらCと考えられる。 すなわち、問題点として、A または B 評価の年度計画の積み上げで、中期計画が実現できるのかどうかをよく検討し、今後の年度計画の立て方に反映する必要がある。
147	58P	評価	プロパー職員の採用	法人独自の事務職員（プロパー事務職員）の採用は、意欲的な重要課題であり、そのことに取り組んだことは評価に値する。 ホームページの改善（事業番号168）が人事異動により遅延したとの説明があったように、2～3年の人事異動では、腰を据えた改革ができにくいし、弊害を生む場合も多い。特に、専門性の高い職については、できるだけ多く、法人独自の事務職員を採用すべきであると考えてるので、今年度（平成22年度）での実現を期待する。			
147	58P	検証 評価	プロパー職員の採用		B	C	年度計画では「事務職員の選考を実施する」ことになっているが、実際には実施できていないため。
150	58P	確認 評価	外部委託について	外部委託に当たっての業者選定法に問題はないかについても、検証する必要があるのではないか。			

事業 番号	該当 ページ	区分	項目	意見	評価		その理由等	
					法人自 己評価	委員の 評価		
155 (64)	60P (28P)	検証 評価	外部研究資金への 全教員の応募			B	C	年度計画として、「科学研究費補助金等の外部研究資金について、全教員が応募することとし、…」は、応募率を100%とする計画であったと理解する。その成果は、80%である。46%からほぼ倍増の80%になったのであるから、顕著な成果であるが、100%を目標にして、80%であるから、評価としては、C(年度計画を下回っている)とせざるを得ない。数値目標とすることは勇気のいることで敬意を表するが、一方で、その難しさに留意して、年度計画を立てるべきである。
157	61P	確認 評価	エネルギーコストの 節減	エネルギーコスト削減について、具体的な数値目標を設けるべきではないか。 比較するものがないので、電力使用量が「前年比4.1%」はスゴイことなのかどうか分らない。		(A)	(A)	否定するまでの情報がない。
163 (154)	63P (60P)	確認 検証 評価	貸付料の適切な料金 設定の検討			A	B	年度計画で「貸付料の適切な料金設定の検討」が挙げられているが、検討が終了していないようなので。
168	65P	確認 評価 要望	大学広報誌について	(3)大学広報誌について 何処に、何部、配布されているのか。 せつかく作成しているのだから、発行部数、配布先なども記し、より有効活用する方法も検討すべきではないか。		(B)	(B)	
170	66P	確認 検証 評価	一元的かつ効率的な 広報	中期計画「広報活動を一元的かつ効果的に行う体制を整備する」に沿った年度計画と実施結果の記述になっていない。「一元的かつ効果的に行う体制」とはどのような体制を想定しているのか、明確にし、その実現に向けた実績を記述すべきであるが、示されていない。		B	C	上記のことを、8月10日に再度ヒアリングし、明確な回答がなければ、上記の理由で評価をCとする。明確な回答があれば、評価をBとする。

事業 番号	該当 ページ	区分	項目	意見	評価		その理由等
					法人自 己評価	委員の 評価	
175	68P	確認 評価	安全・衛生・危機管理対策	研修を実施したという実績は記されているが、学生の参加率などが不明。 より多くの学生に参加させる工夫も検討すべき。「実施しました」という既成事実だけでは意味がないと思う。	(A)	(A)	評価を翻すまでの裏づけがない。
176	69P	確認 評価 検証	危険物取扱いの際の安全管理	年度計画では、「有害・危険物薬品等の取り扱いや管理状況について点検を行い…」とあるが、成果としては、「…に関する調査を継続するとともに…」と記述されている。年度計画では「点検」とあり、実績では「調査」とあり、表現が異なるので、その意味するところの事実関係を確認する必要がある(8月10日のヒアリング)	A	B	「調査を行った」が、その内容が実質的に「点検」になっていないのであれば、B 評価とせざるを得ない。
研究全般	25P ～ 33P	要望		年度計画が異なっても、同じ実績(エビデンス)が重複して示されている。個々の中期計画、年度計画は同じような内容でも、切り口が違うはずであるから異なった実績を示すのが原則である。また、大学の年度計画に、学部の年度計画が混在しており、上記の状況に拍車をかけており、正味の実績が読み取りにくい。次年度以降、注意されたい。			
様式4-1の裏面(評価の視点と評価事項)				「顕著」、「着実」、「独自」、「新規」などとした事務局案に同意			